

診療科目

- ・内科
- ・消化器内科
- ・呼吸器内科
- ・脳神経内科
- ・循環器内科
- ・内視鏡内科
- ・肝臓内科
- ・緩和ケア内科
- ・外科
- ・消化器外科
- ・乳腺外科
- ・大腸・肛門外科
- ・内視鏡外科
- ・形成外科
- ・整形外科
- ・リハビリテーション科
- ・放射線科
- ・麻酔科
- ・人間ドック
- ・創傷ケアセンター
- ・泌尿器科

企業検診、人間ドックも受け付けています。
詳しくは、ホームページをご覧ください。

診察時間

午前 8:30~12:00
午後 1:30~4:30
土曜日 午後・日曜日・祝日 休診

ホームページ

<http://www.hisakai.or.jp/tonan/>



アクセス



医療法人久会

函南病院

〒781-0806 高知市知寄町1丁目5-15
TEL (088) 882-3126
FAX (088) 882-3128

●併設 訪問看護ステーションしもぢ
TEL (088) 883-2467

●関連施設 久病院
高知市桜井町1丁目2-35
TEL (088) 883-6264

ロゴマークについて

旋回する葉の中央の2枚が人間を、周りの葉は地域を表しています。その中にあるのが函南病院であり、久病院です。「地域の中にあり地域と人にやさしい病院でありたい」そんな願いが込められたマークです。

<併設>
通所リハビリテーションさえんば
居宅介護支援事業所しもぢ



特定医療法人 久会
函南病院

地域に根ざし
地域と人に寄り添う
親しみある病院を目指して





理念

1. 私達は地域にとって
よりよい医療・介護をめざし努力を続けます
2. 患者様に信頼される技術と、
暖かいホスピタリティを提供できることが私達の目標です
3. 私達は医療人として楽しく働ける職場作りを目指します

病院基本方針

1. 我々は病気を
安全・快適に治療することを目標としています。
2. 我々は当院の専門分野での
高い医療レベルを維持することに努めます。
3. 我々は地域の
他の医療機関・施設との連携を大切にします。
4. 我々は個人の尊厳を重んじ、人生の終末期に対して
入院および在宅医療・介護を通じて取り組みます。



正面玄関



受付ロビー

院長あいさつ

医療法人久会
 高野篤
 院長

当院の歴史は、創設者の久正男先生が、太平洋戦争後の昭和22年に入明町の焼け残った住宅を改装して診療所を開院したことから始まりました。以来、地域と人にやさしい医療を基本として歩を進め、昭和42年には現在の地に凶南病院を開院、地域の皆様と共に歩み続けて参りました。

現在も思いは変わらず、私たちの病院が取り組む医療は常に地域に根差したものでありたいと考えています。急性期医療においては、救急医療の課題である三次救急への患者集中を防ぐため、地域の一次・二次救急の役割を担うべく可能な限りの救急受入に努めております。回復期分野では、安心して住み慣れた街や社会へと復帰いただけるように、身体的・精神的・社会的といった多面的な支援を通して、一人ひとりに寄り添ったケアの提供を心がけています。また、平成12年より緩和医療を当院の柱の一つと位置付け、患者ニーズに沿って在宅と入院の両面からサポートできるような体制を整え、個々の尊厳を守る医療、患者さんやご家族の思いを実現する医療に努め、皆で知恵を出し合いながら様々な取り組みを続けております。

全国的にも人口の減少と高齢化が進むなかで、地域医療の重要性は年々高まってきております。診療科や職種、施設の垣根を越えて、他病院やクリニックなどと連携を密にして相互補完的に医療の質を担保し、皆さまへ地域に根差した医療を提供できるよう今後も努力を続けて参ります。

診療科案内 一般内科 | 脳神経内科 | 老年循環器内科 | 消化器内科

(一般)内科

幅広い疾患に的確な診療を

内科的疾患全般につき診察・検査・治療を行います。高知大学医学部各科などと提携し、呼吸器、肝臓疾患、消化管の専門医が非常勤で診察しています。必要と考えられる場合は、他院の専門医を紹介します。また、体調不良時の受診や健康に関する相談など、かかりつけ医としてもご利用ください。



脳神経内科

脳と神経の異変に専門対応

脳神経内科では、頭痛、認知症、脳卒中、末梢神経障害、神経筋接合部疾患(重症筋無力症など)、運動異常症(パーキンソン病・パーキンソン症候群・脊髄小脳変性症・ジストニアなど)、運動ニューロン疾患(筋萎縮性側索硬化症など)、てんかんなどの病気について診療を行っています。頭痛、もの忘れ、見えにくい、痛み・しびれ、めまい、歩行のふらつき、筋肉のやせ、けいれん、手足の力が入らない、ろれつが回らない、意識障害、ふるえ・体が勝手に動く、などの症状でお困りの方はお気軽にご相談ください。



老年循環器内科

異変を見逃さない、安心の医療を提供

狭心症、心筋梗塞といった「虚血性心疾患」、大動脈狭窄症、僧帽弁閉鎖不全といった「弁膜症」、完全房室ブロックや心房細動といった「不整脈」、肥大型心筋症、拡張型心筋症といった「心筋症」また、そういった疾患を原因として起きてくる「心不全」などを診療します。具体的な身体に出てくる症状としては「動くと息切れがする」「足がむくむ」「動くと胸に圧迫感・痛み

を感じるが休むと落ち着く」などがあります。また、他には「足が冷たくてしびれる」「歩いていると足が痛くなってくる」という症状をお持ちの方に、足の血管が詰まってしまっている方がいます。その場合も当院で検査・診断をすることができますので、お気軽にご相談ください。



消化器内科

最先端の検査と治療で安心を提供

消化管(食道、胃、小・大腸)、肝臓、膵臓などの消化器の疾患を扱います。CT、MRI、エコー、内視鏡を使用しての診断とそれに続く投薬治療(外来・入院)や、内視鏡的ポリープ切除も行っています。

緩和ケア内科

多彩なケアで、心安らぐ時間を

緩和ケアとは、主に末期がんの患者さんの身体的、精神的な苦痛を取り除き、患者さんご自身やご家族が自分らしく生活できるようにサポートするケアのことです。当院ではがんの治療を継続されている段階から積極的にケアを行うことが必要と考えており、他院でがん治療をされている場合でもその治療内容に関わらず緩和ケアを提供することを目標としております。その内容は薬物投与による症状緩和、CART(腹水濾過濃縮再静注法)や胸腔穿刺といった観血的処置、リンパマッサージ、入院でのアロマセラピー(マッサージ、芳香浴)など多岐に渡っており、多種多様な患者さんの症状に対応しています。また、外来診療や入院での緩和ケアだけでなく訪問診療も行っておりますので、ご自宅でも安心して過ごすことができます。



緩和ケア病棟ロビー

外科

外来化学療法も快適に、 外科的処置やリハビリにも対応

切り傷やすり傷などの外傷やそけいヘルニア(脱腸)、痔、胆のう結石などの小手術に対応しています。診察のうえ大きな処置や手術が必要な時は、高次機能病院を紹介いたします。また、他院での手術後で、外科的な処置やリハビリなどが必要なため入院を要する患者さんの受け入れも行っています。さらに、乳がんなどの外来化学療法も快適に行えるように工夫しています。



化学療法室



OP室



救急処置室

創傷ケアセンター

最先端の検査と治療で安心を提供

慢性創傷とは、6ヶ月以上治らない創傷や治療を開始してから1ヶ月以上経過しても治らない創傷をいいます。当院では、2004年に専門外来を立ち上げ、(株)ミレニアメディカルと提携しアメリカの足病専門医と毎月1回のカンファレンスを行いながら最新の知見を取り入れ、慢性創傷や褥瘡の治療を行っています。

整形外科・ リハビリテーション科

手術からリハビリまで、一貫した整形外科ケアを提供

整形外科は運動器疾患を広く取り扱う診療科で、急性期の外傷のみならず、脊椎疾患、関節疾患などその診療範囲は広範に渡ります。地域のかかりつけ医として、これらでお困りのことをまずご相談いただけるよう、コミュニケーションを大事に診察にあたっております。手術治療が必要な場合にも、当院で可

能な手術はもちろんのこと、それ以外であっても近隣病院と連携をとりながら確実な診療を提供できるよう努めてまいります。また、リハビリテーション科も併設しており、整形外科的な疾患や外傷後だけではなく、加齢に伴う運動器不安定症やフレイルなどにも対応しています。



レントゲン室



IVR透視室



CT



MRI

放射線科

精密検査で安心を、 幅広い画像診断と柔軟な対応

放射線科では、一般X線撮影、CT、MRIの撮影、読影超音波検査の実施・読影を行っており、他院からの依頼にも応じています。できる限りフレキシブルな対応を心がけております。

肝がんに対するTACE(肝動脈化学塞栓療法)、DEB-TACE(肝動注化学塞栓療法)、CV(中心静脈)カテーテル挿入・ポート留置などの血管系IVR(画像下治療)、ドレナージや生検など非血管系IVR手技も行っています。PVP(経皮的椎体形成術)もこれまで200例以上の実績がありますので、圧迫骨折の適応症例はどうぞご相談ください。

訪問診療・看護 (訪問看護ステーションしもぢ)

ご自宅で安心療養、訪問看護があなたを支えます

訪問看護は、ご利用の方が住み慣れたご自宅で安心して療養生活を送っていただけるよう看護師がご自宅へ伺い、療養上のお世話からご家族の介護相談、その他医師の指示に基づいた処置・看護・サービスを行います。必要時には医師の往診も行います。当院では、特に悪性疾患末期の患者さんの診療・看護に力を入れています。看護の必要性がある方なら、どなたでも利用できますが、病気によって介護保険・医療保険の使い分けが必要になってきます。利用制度はこちらで詳しく説明いたしますので、ぜひお気軽にご相談ください。





薬剤部

薬剤部の主な業務は①医師と個々の患者さんに応じたお薬の選択と使用方法や使用量の検討、②お薬の調製、③患者さんへのお薬の説明などがあります。また、日頃の成果をまとめ、学術大会での発表などを通じて、個々の薬剤師が自己研鑽に励んでいます。



リハビリテーション部

リハビリテーション部は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、リハビリ助手が在籍しており、各分野の専門知識と技術を活かして、患者さん個々の状態に最適なリハビリテーションを提供できるよう努めております。当院には一般(急性期)・地域包括ケア・障害者・緩和ケア・介護医療院の病棟があり、また、外来リハも実施しているため様々な経過や状態に対応したリハビリが可能です。また、ご自宅へ訪問しての環境整備・福祉用具等のご相談にも対応しています。



検査部

検査部では大きく分けて、血液や尿・穿刺液などの検査材料を光学顕微鏡・自動分析装置を用いて分析する「検体検査」と直接患者さんに触れて循環器や呼吸器、神経、血管、脳などの生理機能を調べる「生理検査」の2つの検査を行っています。日々の精度管理を行い正確かつ迅速な検査結果を提供できるよう努めております。



栄養部

栄養部では、入院患者さんそれぞれの症状や年齢に合わせた適切な食事を提供し、症状の早期回復のお手伝いをさせて頂いております。また、入院中の食事は患者さんの楽しみの一つと考えており、食材は季節のものを取り入れ季節感を出すように心がけています。その中で、行事食は1月おせち料理から始まり、12月の年越しそばまで1年を通じて色々な行事食を提供しています。

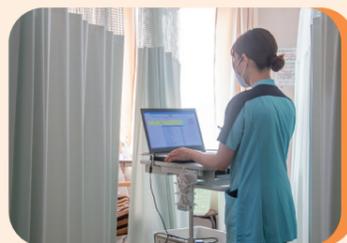


西2階 一般(障害者施設等)病棟

一般(障害者施設)病棟は、急性期治療を終えた患者さんが次の療養場所へ移行する過程を支援する病棟であり、重度障害のある方々が安心して長期入院治療を受けられる場所でもあります。人工呼吸器を使用している方や合併症を抱えた患者さんも、安心して治療や療養が受けられるよう、十分なスタッフを配置しています。また、神経難病の患者さんも多く受け入れており、症状緩和や精神的支援、ご家族を含めた医療対応を積極的に行っています。

西3階 地域包括ケア病棟

地域包括ケア病棟は、急性期治療を終え、病状が安定した患者さんでも、在宅や施設への復帰に不安がある方々を受け入れ、リハビリや経過観察を行いながら在宅復帰支援を行う病棟です。患者さんやご家族の意向を尊重し、住み慣れた地域で切れ目のない支援が受けられるよう、多職種が連携してカンファレンスを行い、院内外の様々な専門職と情報を共有し、患者さんが自分らしく生活できるよう支援しています。



西4階 一般(急性期)病棟

一般(急性期)病棟では、入院が必要な患者さんに対し、迅速かつ専門的な治療を提供する病棟です。重篤な疾患や外傷、手術後の回復期など、生命に関わるリスクのある患者さんに24時間体制で医療を行い、安定した状態へ導きます。日々患者さんの安全に注意しながら、個々に合わせた尊厳ある看護ケアを提供させていただきます。

介護医療院

介護医療院は、長期にわたり療養が必要な要介護高齢者の方々に、安定した生活を提供するための施設です。ここでは、治療を必要とする方から、慢性的な医療管理が必要な方まで、個別のニーズに応じた支援を行います。アットホームな雰囲気大切に、季節ごとの飾りつけやレクリエーションを行い、お誕生日にはスタッフによる合唱でお祝いをしています。一人ひとりの健康状態を継続的にサポートすることで、安心して過ごせる環境を整えています。

緩和ケア病棟

緩和ケア病棟は、主に治癒が難しい悪性腫瘍の患者さんに対して、症状の緩和や退院に向けた準備、または看取りの場として利用されています。病棟の温かな雰囲気は、ご自宅で過ごしているような環境を目指し、個室を完備してプライバシーを守りながら患者さんの生活を支援しています。身体的な苦痛や心の負担に寄り添い、患者さんご家族の気持ちを尊重し、一人ひとりが穏やかに過ごせるようサポートしています。

